

西洋古典学におけるコンピュータ利用

岩谷 智

ゲーテンベルグの活版印刷は情報の大衆化という面で革命的な役割を果たしたが、パーソナルコンピュータはそれに匹敵する潜在能力をもつものとして登場してきたといっていよい。すなわち、ワープロ、表計算といった事務処理の効率化のために導入されたパーソナルコンピュータがCD-ROM という大容量記憶媒体の出現とネットワーク化によって情報端末に変身したのである。本稿では西洋古典学におけるコンピュータ利用について「CD-ROM」と「インターネット」をキーワードに解説する。

第一部 CD-ROM の利用

CD-ROM が記憶媒体として優れている点はその製造原価の安さと省スペース性にある。Oxford English Dictionary (OED) 2nd ed. を例にとれば、冊子体は全20巻で国内販売価格50万円弱であるのに対して、CD-ROM 版は音楽用CDと同じサイズで、価格は15万円弱である。内容はほぼ同一なのでその価格差は製造原価の反映と見てよい⁽¹⁾。西洋古典関係のCD-ROMについても同様なことがいえよう。

1 西洋古典関係の CD-ROM

西洋古典関係で重要なCD-ROMにはTLG (Thesaurus Linguae Graecae) 及び PHI (Packard Humanities Institute)がある⁽²⁾。さらに今年度中にAPH (L'Année Philologique) がリリースされる予定であり、TLL (Thesaurus Linguae Latinae) のCD-ROM化プロジェクトも始まっている。

TLG

TLG はカリフォルニア大学アーヴィン校で進められてきたギリシア語テキスト電子化プロジェクトで、現行のTLG D版にはホメロスからスコ

リアにいたるまで単語数にして5700万語にもおよぶギリシア語文献が収録されている。このプロジェクトはまだ進行中で、1993年9月の時点ではさらに1400万語のデータが集積されているとのことである。これらのデータも校合終了次第 CD-ROM 化される。

なお、TLG CD-ROM は売りきりではなくライセンス契約による使用許諾という形式をとっている。ライセンスには3種類ある。

(1) Individual Licence (five years): \$500.00

(2) Institutional Licence (five years): \$850.00

(3) Site Licence (five years): \$3,500.00

(3)のサイトライセンスは学会等の公共機関を対象とするもので、その機関に所属するメンバーすべてに使用を認めるものである。そのさい、ハードディスクにすべてのファイルをダウンロード（コピー）することも許される。

PHI

PHI (the Packard Humanities Institute) からは現在2枚の CD-ROM がリリースされている。PHI #5.3 は PHI と ペンシルバニア大学の CCAT (the Center for Computer Analysis of Texts) が協力して作成した CD-ROM で、紀元200年までのほとんどすべてのラテン語文献（および Servius, Porphyrio, Zeno, Justinianus）と各種聖書 (the Septuagint, Hebrew Bible, Greek and Coptic New Testament, Latin Vulgate Bible, King James and RSV Bibles) が収録されている。もう一枚の PHI #6 はデューク大学がミシガン大学の協力のもとにまとめた Documentary Papyri とコーネル大学が中心となって編纂したギリシア語碑文資料である。

PHI も TLG 同様にライセンス方式となっている。

	Annual	Three years
Latin (PHI #5.3) only	\$40	\$100
Documentary only	40	100
Both together	60	150

APH

これは the City University of New York Graduate Center で進められている L'Année Philologique の CD-ROM 化プロジェクトである。1994年度中に 1976年から1987年までの L'Année Philologique がすべて CD-ROM 化され、そのうち「なるべく早い時期に」1975年以前分と1988年以降分がリリースされる予定である。ただし CD-ROM 化は冊子体が発行されてから3年以降という著作権上の制約があるということで、雑誌論文に関する最新情報はインターネットの項で述べる TOCS-IN などによらねばならない。

この APH CD-ROM も TLG や PHI 同様使用ライセンス契約となる。価格は「個人でも手の届くよう努力する」とアナウンスされている⁽³⁾。

TLL

カリフォルニア大学アーヴィン校が TLG に続く第二のプロジェクトとして取りあげるのが、TLL の CD-ROM 化である。まだ具体的な成果は発表されていないが、そのプロジェクトの進行状況などについては、後に取り上げるインターネット上のディスカッショングループ LEXI で知ることができる。

2 CD-ROM 利用に必要なハードウェア・ソフトウェア

ハードウェア

CD-ROM を利用するためには、マッキントッシュ（アップル）、あるいは、Windows 3.1（日本語 Windows で可）の使える環境が必要である。もちろん CD-ROM ドライブは不可欠である。ギリシア語等の印字には特別なプリンタは必要ない。

ソフトウェア（検索ソフトとギリシア語フォント）

APH と TLL に関しては現時点でどのようなファイルフォーマットになるか不明であるが、CD-ROM のリリースにそれほど遅れることなく検索ソフト（あるいは必要なフォント）が発表になると思われる。以下 TLG と PHI 用の

ソフトについて述べることにする。

マッキントッシュ用

筆者がマッキントッシュで使っている検索ソフトは Pandora (ver.2.5.2) である。このソフトは TLG, PHI とともに検索可能である。ギリシア語（および長音記号付きのラテン語）入力には GreekKeys (ver.7.0) という古典語入力システムを使っている。

検索は、対象とする作品を選び、検索したい単語を指定するというかたちで行われるが、そのさい、単語はあくまでも「変化形」でなければならない。したがってホメロスにおける $\mu\eta\nu\iota\varsigma$ の用例を調べようとしても、 $\mu\eta\nu\iota\nu$ で検索しなければ、 $\mu\eta\nu\iota\nu$ ἄειδε, θεά は検索できないのである。もちろん、単語の一部（たとえば $\mu\eta\nu$ など）を検索対象にすることもできるが、そうすると $\mu\eta\nu\iota\varsigma$ 以外の不要な単語も検索されてしまうことになる。現時点では辞書見出しの形で検索できるソフトはない。

検索速度は、筆者のシステム(Macintosh LC475 + Pioneer DRM-602X)で『イリアス』、『オデュッセイア』中の $\mu\eta\nu\iota\nu$ の用例を検索した結果、ヒットしたのは12例で、検索時間は15秒であった。また、検索対象にスコリアを含めた場合、ヒットしたのは51例で検索時間は50秒であった。なお、検索の対象ファイルをハードディスクにコピーした場合、それぞれ、6秒、24秒という結果となった。いずれにせよ実用の範囲内と思われるが、検索対象とする作品が限定されているのならば、ハードディスクにコピーしておいた方が便利であろう⁽⁴⁾。

Pandora は検索するだけでなく、テキストを順番に読んでいく Browse という機能もそなえている。また、必要な部分だけワードプロセッサなどに出力することも可能である。相性のよいワープロソフトとしては Microsoft Word（英語版）の名前がマニュアルにあがっている。

なお、Pandora はハイパーカードスタック形式の検索ソフトなので、ある程度自分の使いやすいようにカスタマイズすることができる。たとえば、初期設定では画面の大きさはコンパクトマック（9インチディスプレイ一体型）用に512*342ドット（ピクセル）になっているが、13インチ（あるいは16インチなど）用に拡大することができる。ファイル書き出しの設定も初期設定の「指定した行の前後50行」から「指定した行以降任意行」にしたほうが便利である。

う（ただし、TLG (PHI) CD-ROM のデータフォーマットからくる制限であると思われるが、一回の操作での書き出しは最大限150行程度のようなものである）。

ギリシア語（および長音記号を含むラテン語）入力ソフトとしては GreekKeys が優れている。これはフォントではなくギリシア語「入力システム」であり、ことえりやATOK8などといったかな漢字変換ソフトとおなじような働きをする。GreekKeys には古典ギリシア語用の二種類のフォント(Attika, Athenian)のほかに、碑文やパピルス、韻律のための特殊記号を含んだ Symbol Athenian, さらに、ラテン語で長音記号が使えるフォント Classical が同梱されている。なお、ギリシア語の母音とアクセント記号（および氣息記号、下書きのイオータなど）の組み合わせは基本的なものはワンストロークで入力できる。この入力システムやフォントは Pandora だけでなく日本語ワードプロセッサなどでも利用できる。

Windows 3.1 用

筆者が日本語 Windows 3.1 上で試用したのは検索ソフト TLG Workplace 3.01 とギリシア語フォント Sgreek の組み合わせと⁽⁵⁾、検索ソフト Musaios 1.0b とギリシア語フォント WinGreek の組み合わせである⁽⁶⁾。検索ソフトとフォントの組み合わせはこの通りでなければ正常に動作しない。Musaios は TLG, PHI の両方に対応しているが TLG Workplace はその名の通り TLG 専用である⁽⁷⁾。

機能の点ではどちらも Pandora と同等で、基本的な検索、Browse、コピーアンドペーストが可能である。検索スピードもほぼ互角である。あとは細かなユーザーインターフェースの違いということになるが、特筆すべきは TLG Workplace の検索メニューのなかに Search Date Range, Search by Classification のサブメニューがある点で、それぞれ特定の時期、あるいは特定のジャンルの作者だけを簡単に検索対象にできるようになっている。

なお、ワードプロセッサとの連携ではともに MS-Word（英語版）が推奨されている。筆者は日本語マイクロソフト Word Version 5.0 を使用しているが特に不具合は生じていない。

ギリシア語入力に関しては Sgreek, WinGreek とともに単なるフォントにすぎず、マッキントッシュ用の GreekKeys に比べると使い勝手は落ちる。アクセント記号などといったん母音を入力したのちに重ね書きをしなければならない。

第二部 インターネットの利用

1 インターネットの概要

インターネットは「コンピュータ・ネットワークのネットワーク」で、全世界の5000以上のネットワークで構成され、ユーザ数は2000万人ともいわれている。前身は1969年に米国の国防総省が構築した ARPANET であるが、のちに大学や研究機関を中心として学術一般に使われるようになった。

インターネットで利用可能なサービスは大きくわけて、電子メール(email)、リモートログイン(telnet)、ファイル転送(ftp)の三つである。電子メールは通常の手紙を電子的に行うものである。リモートログインは自分の所属するコンピュータネットワーク以外のコンピュータにアクセスして、そのコンピュータのプログラムやアプリケーションを実行する機能である。ファイル転送は一つのコンピュータに蓄えられているデータを別のコンピュータに移すためのサービスである。

二通りのアクセス方法

所属大学・研究機関のコンピュータがインターネットに接続されている場合は、そこに設置されている端末から直接アクセスが可能である。詳細は各大学・研究機関の計算機管理者に問い合わせされたい。

所属大学がインターネットに接続していない場合は全国7大学（北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学）に設置されている大型計算機センターを利用することになる⁽⁶⁾。

利用資格のある者は大学・短大の専任教員、大学院生、研修員、大学・短大の最終学年生などである。なお、費用支払いは私費ではなく、公費によらねばならない。

必要な機器

利用申請が受理されると、大学計算機センターの端末室に赴いてインターネットにアクセスすることが可能になる。しかし、一般には、自宅のパーソナルコンピュータを大型計算機センターの端末として利用するほうが便利である。

パーソナルコンピュータを端末にするためには、一般の電話回線、モデム、通信ソフトが必要となる。モデムはできるだけ高速のものが望ましい。新たに購入するのなら2400ボーのものではなく、14400ボーにすべきである。

通信ソフトは VT100 エミュレーション機能を備えている必要がある。Macintosh の場合はパブリックドメインソフトの Ninja-Term, まつもと(株)のJterm2, NEC 9801 シリーズの場合は技術評論社の CCT-98, Windows 3.1 用としては同じく技術評論社の CCT/Win などが利用できる。また、各大学計算機センターなどでも端末エミュレーションソフトの配布が行われているはずなので、各自問い合わせされたい。

コスト

海外のコンピュータにアクセスしたとしてもとくに国際電話料金、あるいは専用回線使用料のようなものを徴収されることはない。基本的には自分の所属する計算機センターの使用料と計算機センターまでの国内電話料金のみである。筆者の場合年間150時間ほど利用して市内電話料金をのぞく負担金は2万円弱であった(利用者プログラム、データ用の磁気ディスク利用料を含む)。

2 西洋古典関連のインターネット上のリソース(情報資源)

西洋古典関連のリソースとしては、「人的資源」「電子化テキスト」「書誌情報」の三つがあげられる。「人的資源」にアクセスするためには、「リスト」と「ニュース」という情報交換の場がある。「電子化テキスト」を入手するためには「ファイル転送」を用いる。「書誌情報」用には Gopher あるいは HYTELNET などのツールがある。

インターネット上の情報交換－「リスト」と「ニュース」

インターネット上にはふたつの情報交換の場がある。ひとつは電子メール(electronic mail)を利用した「リスト」、もうひとつは電子掲示板(bulletin board system)形式の「ニュース」である。

前者は、特定の分野に興味をもつ人々がそれぞれの電子メールアドレスをひとつの「リスト」に登録し、ファックスでいうところの同報通信のかたちで相

互にメールを交換しあって議論をすすめていくものである。したがって、リストに登録しない限り情報交換はできない。

それに対して、「ニュース」はインターネット利用者であればだれでも記事を読んだり投稿したりすることができる。専門家が専門家以外の意見を聞きたい場合や、反対に、素人が専門家に質問する場合などはこの「ニュース」を使うことになる。ただし、かならずしも情報の質の点で「リスト」に劣るというわけではない。「ニュース」には7つの主要なカテゴリーがあり、それぞれのカテゴリーには数百のニュースグループが含まれている。

西洋古典関係の「リスト」については本稿末の資料1を参照されたい。「ニュースグループ」としては `sci.classics`, `sci.archaeology`, `sci.philosophy`, `soc.history` といったところあげられる。

「リスト」「ニュース」を利用するためのツールは各コンピュータシステムによって異なるので、利用する計算機センターに問い合わせされたい。筆者の場合は、おもに Emacs という UNIX 用のエディタを使用している。

電子化テキスト

インターネット上では聖書や英文学を中心に版權の切れた（あるいはない）書物の電子化プロジェクトが何箇所かですすんでいる。西洋古典関係でもウェルギリウスのテキストやカエサルのコメンタリーなどが電子化されており、ファイル転送サービスによって入手可能である。ただしテキストに関しては上述した CD-ROM でほぼ十分といえよう。今後のこととして辞書や研究書の電子テキスト化が期待される。

書誌情報等の検索（Gopher, HYTELNET を利用して）

インターネットは全世界に広がる巨大なネットワークであり、また、日々情報が蓄積されていくので、必要な情報のありかを知るにはテクニックが必要となる。上述した「リスト」や「ニュース」はそうした情報源としても非常に重要である。また、それ以外にも情報検索のためのさまざまなツールが開発されている。

筆者は Gopher と HYTELNET というふたつのツールを普段使用している。Gopher で入手できる主な西洋古典関係の情報としては、主要雑誌論文目録の

TOCS-IN (Tables of Contents of Interest to Classicists) (資料 2 参照), TAPA のプリプリントバージョンである e-TAPA preprint service, TLG に関する情報を扱う TLG information server などがある. 詳細は資料 3 を参照されたい. また, Hytelnet は図書館情報専用のツールである. これも資料 4 を参照されたい.

注

(1) RANDOM HOUSE UNABRIDGED DICTIONARY (2nd ed.) にいたっては, 期間限定ながら, 書籍の形の辞書と CD-ROM がバンドルされて 100 ドルという値段となっている (限定期間を過ぎれば 200 ドル). なお, 電子ブック用として発売されている各種辞書ソフト (たとえば研究社『Readers 英和辞典』, 岩波書店『広辞苑』, 三省堂『大辞林』, 三省堂『クラウン独和辞典』, 三省堂『クラウン仏和辞典』など) もパーソナルコンピュータと CD-ROM ドライブの組み合わせで利用可能である. 検索ソフトとしてはマッキントッシュ用の『書見台』, Windows 3.1 用の DDWin が有名である. 使い勝手はともに非常によい.

(2) TLG および PHI に関しては西洋古典学研究 XL (1992) 所収の片山英男氏による解説をあわせて参照されたい. この解説は L.Berkowitz & K.A.Squitier (with technical assistance from W.A.Johnson): Thesaurus Linguae Graecae Canon of Greek Authors and Works. 3rd Edition, Oxford U.P., New York, 1990. に対する書評というかたちをとっている.

(3) 詳細は Sean Redmond (New York University) E-mail address: Redmonds@acfcluster.nyu.edu に問い合わせされたい. またリリース時期等, このプロジェクトに関する事柄はニュースグループ sci.classics で発表されることになっている.

(4) 検索に必要なファイルは AUTHTAB.DIR;1 (著者目録) と作品ファイルである. ホメロスの場合 TLG0012.IDT;1 と TLG0012.TXT;1. 作品ファイルは拡張子に IDT と TXT のついたものがセットになっている.

(5) Sgreek は TLG Workplaceに同梱されている。なおおなじ Silver Mountain Software から発売されている SGkClassic および SGkDutch も使用可能。

(6) Musaios 1.0b は ver1.0 のときは Scriptorium というソフト名であったが、商標登録上の問題で変更になった。また、マッキントッシュバージョンも開発中とのことである。なお、WinGreek フォントは P. J. Gentry によるシェアウェア。

(7) 同じソフトウェアベンダーから PHI Workplace というソフトが発売されているとのことである。

(8) 米国では90年、日本国内でも93年からインターネットの商用利用が認められ、インターネットへの個人での接続の道が開かれた。ただし個人が利用するにはすくなくとも日本ではいまのところコストがかかりすぎる。商用プロバイダーに関しての詳細はインターネットイニシアティブ(IIJ) 03-3580-3781,あるいは、日本イーエヌエス AT&T (AT&T Jens)03-5561-3333 に問い合わせされたい。

参考文献

片山英男, L.Berkowits & K.A.Squitier: Thesaurus Linguae Graecae Canon of Greek Authors and Works. 3rd Edition. 書評, 西洋古典学研究 XL (1992).

T.LaQuey & J.C.Ryer, The Internet Companion, Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1993. (邦訳『Internet ビギナーズガイド』鈴木撰訳, トッパン, 1993)

B.P.Kehoe, Zen and the Art of the Internet -- A Beginner's Guide 2nd ed. (邦訳『初心者のためのインターネット』, 西田竹志訳, トッパン, 1993)

宮地 力, 『Macintosh インターネット入門』, アジソンウェスレイ, 1993.

小林光夫・武市正人・鈴木卓治著『UNIX ワークステーション入門』，東京大学出版会，1992.

宮城史朗，『はじめて使う GNU Emacs（改訂版）』（矢吹道郎監修），啓学出版，1993.

吉村 伸，『インターネットの利用と仕組み 9 Gopher』，UNIX MAGAZINE, 1994-1, 44-51.

UNIX USER, 1993年7月号，特集「インターネット新時代の幕開け」.

Thesaurus Linguae Graecae, Newsletter No.21, University of California Irvine, 1993-09.

京都大学大型計算機センター 利用の手引き－運用編－ (1993年4月)

京都大学大型計算機センター 利用の手引き－UXP編－ (1992年3月)

オンライン・データベース利用ガイド（第12版）全国共同利用大型計算機センターライブラリ・データベース連絡会(1992年11月)

有座 道春 Ninja Term (lime 0.961) 使用の手引き 88.8.9.

（株）技術評論社 CCT-98Ⅲ マニュアル

（株）まつもと Jterm 2.0 マニュアル

資料1 「リスト」

入会するためには、リストサーバーのアドレス(SU)につぎの形式で電子メールを送る。

SUBSCRIBE <LIST_NAME> <YOUR_FIRST_NAME> <YOUR_LAST_NAME>

たとえば、CLASSICS のニュースグループに Satoshi Iwaya という名前で参加したいのならば、メールの1行目に

SUBSCRIBE CLASSICS Satoshi Iwaya

と書き、それを、SU の欄に書かれているリストサーバーアドレス、すなわち、

LISTSERV@UWAVM.U.WASHINGTON.EDU

に送ればよい。以下に掲げる「リスト」の資料は SOURCES CLASSICAL (LATIN AND CLASSICAL GREEK) のタイトルで Lexigen@world.std.com がまとめたものの一部である。なおMO は moderator の略で各リストの議長(世話役)のことである。

LN: CLASSICS@UWAVM

TI: An unmoderated electronic discussion group for topics in Greek and Latin.

SU: LISTSERV@UWAVM.U.WASHINGTON.EDU

MO: Linda Wright (LWRIGHT@CAC.WASHINGTON.EDU)

LN: LATIN-L@PSUVM

TI: A discussion group and forum for people interested in classical Latin, mediaeval Latin, and Neo-Latin.

SU: LISTSERV@PSUVM.PSU.EDU

MO: Stephen Pimentel, 7114 Vellex Lane, Annandale, VA 22003

LN: MEDTEXTL@UIUCVMD

TI: Mediaeval Texts -- Philology, Codicology, and Text Analysis.

SU: LISTSERV@VMD.CSO.UIUC.EDU

MO: James Marchand (Internet) MARCHAND@UX1.CSO.UIUC.EDU -

Gerhard Obenaus (Internet) GOBENAU@UX1.CSO.UIUC.EDU

LN: IOUDAIOS@YORKVM1

TI: IOUDAIOS (Greek for "Jew") is an electronic seminar devoted to the exploration of first-century Judaism.

SU: (Internet) LISTSERV@VM1.YORKU.CA

MO: David Reimer (Internet) DREIMER@VM1.YORKU.CA

LN: TML-L@IUBVM

TI: Thesaurus Musicarum Latinarum Database for Latin music theory.

SU: LISTSERV@IUBVM.UCS.INDIANA.EDU

MO: Thomas J. Mathiesen (Bitnet) MATHIESE@IUBVM

LN: SOPHIA@LIVERPOOL.AC.UK

TI: For the discussion of ancient philosophy (from Hesiod to Iamblichus, Spain to Palestine).

SU: LISTSERV@LIVERPOOL.AC.UK

MO: Stephen Clark (Internet) SRLCLARK@LIVERPOOL.AC.UK

LN: BMCR-L@BRYNMAWR

TI: The Bryn Mawr Classical Review reviews books on Greek and Latin literature, and Greek and Roman history, and has occasional notices (e.g. about conferences).

SU: LISTSERV@CC.BRYNMAWR.EDU

LN: ANCIEN-L

TI: Ancient History Discussion Group; carries news, views, and requests for information pertinent to the history of the

Mediterranean.

SU: LISTSERV@ULKYVM.LOUISVILLE.EDU

LN: MEDTEXTL

TI: Medieval Text -- Philology, Codicology, Technology etc.

This is a particularly lively and interesting discussion group and covers most areas of mediaeval studies.

SU: LISTSERVER@UIUCVMD.BITNET

LN: AEGEANET

TI: The purpose of AegeaNet is to facilitate discussion, initiate and test new ideas, and explore possibilities in the world of the Aegean Bronze Age.

SU: MAJORDOMO@AC PUB.DUKE.EDU

LN: CONTEX-L

TI: For all who are interested in the cross-disciplinary analysis of ancient texts.

SU: LISTSERV@ACADVM1.UOTTAWA.CA

LN: ELENCHUS

TI: Devoted to discussions of the thought and literature of Christianity during the period A.D. 100 to 500.

SU: LISTSERV@ACADVM1.UOTTAWA.CA

LN: LEXI

TI: The University of California at Irvine (UCI) has been home to the Thesaurus Linguae Graecae Project (TLG) since 1972 and is now embarking upon a second major computer-based project aimed at conversion of the Thesaurus Linguae Latinae (TLL) into electronic form.

SU: LISTSERV@UCI.EDU

MO: Eduard Woelfflin

LN: NT-GREEK

TI: An electronic conference designed to foster communication concerning the scholarly study of the Greek New Testament.

SU: NT-GREEK-REQUEST@VIRGINIA.EDU

LN: PAPY

TI: This list server provides a discussion forum for all interested in papyrology and the history, epigraphy, and archaeology of Graeco-Roman Egypt.

SU: LISTSERV@IGL.KU.DK

LN: PERSIA-L

TI: An unmoderated list devoted to interdisciplinary approaches to biblical texts and related literature of the Persian Period (6th-4th centuries B.C.).

SU: LISTSERV@EMUVM1.CC.EMORY.EDU

資料2 TOCS-IN で検索可能な研究雑誌一覧

Alphabetical list of journals and where-do .toc files they occur in:

===== (explicanda at end)=====

AA: arch-1	Chiron: cla-1	LCM: cla-5
AAA arch-2	ClAnt: cla-2	Latomus: cla-4
ABSA: arch-1	DArch arch-3	LibStud: misc-2
AClass: cla-1	EMC: cla-3	MDAI(A) arch-2
AD arch-2	EgArch: misc-1	MDAI(R) arch-5
AE arch-2	EpZim: misc-1	Minerva: arch-4
AHB: cla-1	Eranos cla-3	Mnemosyne: cla-5
AHR: misc-1	Expedition: arch-3	NTS: rlne-3
AJA: arch-1	G&R: cla-3	P&P: misc-2
AJAH cla-1	GRBS: cla-3	PAA arch-4

AK: arch-1	Glotta: cla-3	PBSR: arch-4
AJPh: cla-1	H&T: misc-1	PCPhS: cla-5
AS: arch-1	HSPH: cla-3	PMLA: misc-2
ASAA arch-1	HTHR: rlne-1	PP: cla-5
Akroterion: misc-1	Helios: cla-3	Phoenix: cla-5
AncW: misc-1	Hermathena cla-4	Prooftexts: rlne-3
AntJ arch-1	Hermes: cla-4	QUCC cla-5
Antichthon cla-1	Hesperia: arch-3	RA arch-5
Antiquity: arch-1	Historia: cla-4	REA cla-5
Archaeology: arch-2	ICS cla-4	REG: cla-6
Archaeometry: arch-2	IEJ: arch-3	REL cla-6
Arethusa: cla-1	IJNA: arch-3	RFIC cla-6
Arion: cla-1	JAAR: rlne-2	Ramus: cla-5
Athenaeum: cla-1	JAOS: rlne-3	RhM: cla-6
BASO: arch-2	JAnthArch: arch-3	RoA: arch-4
BASP: misc-1	JArchSc: arch-3	SCI: cla-6
BCH: arch-2	JBL: rlne-2	SCent: rlne-3
BiblArch: rlne-1	JEA: arch-4	SIFC cla-6
BiblArchR: rlne-1	JFA: arch-4	Scholia: cla-6
BiblR: rlne-1	JHI: misc-1	Semeia: rlne-3
C&M cla-1	JHS: cla-4	SovAA: arch-5
CAJ: arch-3	JIES: misc-1	Speculum: misc-2
CB: cla-2	JMA: arch-4	StHA arch-5
CBQ: rlne-1	JNES: rlne	TAPhA: cla-6
CJ: cla-2	JR: rlne-2	VChr: misc-2
CML: cla-2	JRA: arch-4	Vergilius: misc-2
CPh: cla-2	JRS: cla-4	Vivarium: misc-2
CQ: cla-2	JRitSt: rlne-2	WorldArch: arch-5
CR cla-2	JThS: rlne-3	YClS: cla-6
CW: cla-2	JWI misc-2	ZPE: cla-6
ChHist: rlne-1	Klio: cla-4	

Format: Journal abbr, colon (:) if any issues are available,

.toc file. The last 2 digits of the year must be added in the .toc filename: e.g., journals marked "cla-1" will be found in cla92-1.toc and cla93-1.toc. in form.toc contains a full list of journals, issues, and years, listed by the .toc file they are contained in.

資料 3 Gopher を使ったの情報検索

所属する大学の UNIX 端末（もちろん通信ソフトを使用して自宅のパーソナルコンピュータを端末にしてもよい）のシステムプロンプトから telnet というコマンドを使って the University of Illinois at Urbana-Champaign Gopher にリモートログインする. この Gopher Server はあらかじめ使用許諾を得なくても使用できる Public Gopher Telnet サイトの一つで、ネットワーク上のアドレスは ux1.cso.uiuc.edu である.

```
sakura% telnet ux1.cso.uiuc.edu
```

ログインプロンプトにたいして gopher と入力する.

```
login: gopher
```

いくつかのメッセージが表示されたあと, Urbana-Champaign Gopher server のオープニング画面 (Root) となる.

```
Root gopher server: gopher.uiuc.edu
```

- ```
--> 1. Welcome to the University of Illinois at Urbana-
 Champaign Gopher.
 2. Campus Announcements (last updated 02/21/94)/
 3. What's New? (last update: 11/04/93)/
 4. Information about Gopher/
 5. Keyword Search of Gopher Menus <?>
 6. Univ. of Illinois at Urbana-Champaign Campus
```

Information/

7. Champaign-Urbana & Regional Information/
8. Computer Documentation, Software, and Information/
9. Libraries and Reference Information/
10. Newspapers, Newsletters, and Weather/
11. Other Gopher and Information Servers/
12. Phone Books (ph)/
13. Internet File Server (ftp) Sites/
14. Federal Register Entry Has Been Moved.

ここから、メニューを順番にたどっていく。古典関係のリソースは Classics and Mediterranean Archaeology にまとめられている。そこにたどりつくためには、次のような順番で番号を入力していく。

- 1 11 (Other Gopher and Information Servers/)を選択
- 2 次の画面で 22 (USA/) を選択
- 3 さらに 23 (michigan/) を選択
- 4 最後に 8 (Classics and Mediterranean Archaeology/)を選択

Classics and Mediterranean Archaeology gopher server のオープニング画面

Gopher Courtesy Account Client v1.125

Classics and Mediterranean Archaeology

- >
1. About This Server.
  2. Additions 2-26-94/
  3. All Resources for Classics and Mediterranean Archaeology/
  4. Catalogs of Academic Presses/
  5. Departmental Descriptions/
  6. Field Projects/
  7. General/

8. Journals/
9. Mail Lists/
10. Museum and Library Exhibits/
11. Papyrology/
12. Spatially Referenced Data/
13. Teaching Materials/14. Texts/

つぎにあげるのは3 All Resources for Classics and Mediterranean Archaeology の内容である (/が末尾に付いている場合は、さらに下位メニューがあることを示している) .

- > 1. Aegean Prehistory Course/  
2. Anthropology and Archaeology Server (from Yale)/  
3. Archaeology Server from Britain/  
4. Beinecke Library, Yale University Papyrus Collection/  
5. Bryn Mawr Classical Review (from Virginia)/  
6. Bryn Mawr Medieval Review (from Virginia)/  
7. Catalog of Digital Elevation Data.  
8. Dallas Museum of Art, Ancient Galleries/  
9. Description of AIA-L List.  
10. Description of ANCIEN-L.  
11. Description of ANE (Ancient Near East) List.  
12. Description of ANTHRO-L.  
13. Description of ARCH-L List.  
14. Description of AegeaNet List.  
15. Description of CLASSICS List.  
16. Description of CONTEX-L List.  
17. Description of ELENCHUS List.  
18. Description of HERITAGE List.  
19. Description of IOUDAIOS List.  
20. Description of LATIN-L List.  
21. Description of LEXI List.  
22. Description of NT-GREEK List.

23. Description of PAPY List.
24. Description of PERSEUS List.
25. Description of PERSIA-L List.
26. Edinburgh University Press (Scotland) <TEL>
27. Electronic Antiquity : Communicating The Classics  
(from Tasmania)/
28. FTP Address of Oriental Institute and Description.
29. Global Land Info System - from the USGS <TEL>
30. Harvard University Press <TEL>
31. IOUDAIOS REVIEWS (from Pennsylvania)/
32. Images of Europe from Meteosat (from NASA) /
33. Institut fuer Papyrologie, Universitaet Heidelberg/
34. Internet Information and Resources: includes Zen and  
the Art of Th../
35. Johns Hopkins University Press/
36. Johns Hopkins University Press, Classics Journals/
37. Latin for Reading/
38. Library Catalogs Listed by Location (from the Yaleinfo  
Server)/
39. Library of Congress Dead Sea Scrolls Exhibit (from  
Britain)/
40. Library of Congress Vatican Exhibit (from  
Pennsylvania)/
41. List of resources for Classical Studies ( from  
world.std.com ).
42. Massachusetts Institute of Technology Press/
43. National Archeological Database (US National Park  
Service) <TEL>
44. National Science Foundation (NSF) Gopher (STIS)/
45. Other Gopher and Information Servers/
46. Perseus Project Gopher Server/
47. Princeton University Press/
48. Rutgers University Press/

49. Scholia Reviews (from the University of Natal  
(Durban))/
50. School of Architecture and Urban Planning, U. of Mich.  
( see menus../
51. Search Directory of Scholarly Electronic Conferences  
<?>
52. TAPA (from Pennsylvania)/
53. TOCS-IN: Contents of jrnls of interest to classicists  
(from Virgin../
54. Thesaurus Linguae Graecae Gopher Server (from UC-  
Irvine)/
55. University of Arizona Press/
56. University of British Columbia Press/
57. University of Chicago Press/
58. University of Illinois Press/
59. University of Minnesota Press/
60. University of Nebraska Press <TEL>
61. World Heritage (From the Institute for Global  
Communications)/
62. World Heritage - A UNESCO Publication (from cic.net)/
63. World Systems Archive (from Colorado)/

#### 資料4 HYTELNET を使っての図書館情報検索

gopher 同様 UNIX のシステムプロンプトから次のように入力する.

```
sakura% telnet hytelnet.cwis.uci.edu
```

ログインプロンプトに hytelnet と入力.

```
login: hytelnet
```

## HYTELNET のオープニング画面

Welcome to HYTELNET

version 6.5

June 20, 1993

|                           |              |
|---------------------------|--------------|
| What is HYTELNET?         | <WHATIS>     |
| Library catalogs          | <SITES1>     |
| Other resources           | <SITES2>     |
| Help files for catalogs   | <OP000>      |
| Catalog interfaces        | <SYS000>     |
| Internet Glossary         | <GLOSSARY>   |
| Telnet tips               | <TELNET>     |
| Telnet/TN3270 escape keys | <ESCAPE.KEY> |
| Key-stroke commands       | <HELP>       |

.....  
Up/Down arrows MOVE      Left/Right arrows SELECT      ? for  
HELP anytime

m returns here      q quits

.....  
HYTELNET 6.5 was written by Peter Scott  
E-mail address: aa375@freenet.carleton.ca

このオープニング画面から例として Harvard 大学図書館にアクセスしてみる。  
HYTELNET も gopher と同じようなメニューシステムであるが、直接数字を  
入力するのではなく、カーソルキーを使って選択していく。次のように 1 から  
5 まで順番に選択していけばよい。

- |   |                            |            |     |
|---|----------------------------|------------|-----|
| 1 | Library catalogs           | <SITES1>   | を選択 |
| 2 | The Americas               | <SITES1A>  | を選択 |
| 3 | <US000> United States      |            | を選択 |
| 4 | Other Libraries            | <US0000TH> | を選択 |
| 5 | <US040> Harvard University |            | を選択 |

Harvard University Office for Information Technology に接続した画面.

```


*** *** ***
*** VE *** RI ***
*** *** ***
***** *****
**** TAS ****
*** ***

HOLLIS (Harvard OnLine Library
 Information System)
VINE (Campus Information)
HUBS (Harvard University Basic
 Services)
IU (Information Utility)
CMS (VM/CMS Timesharing Service)

```

\*\* HOLLIS AND VINE ARE AVAILABLE WITHOUT ACCESS RESTRICTIONS \*\*

Access to other applications is limited to individuals who have been granted specific permission by an authorized person.

HOLLIS (Harvard Online Library Information System) に入れば、あとは通常の図書館のコンピュータ検索と同様のことが可能となる。

## ソフトウェアベンダー等連絡先

### Thesaurus Linguae Graecae CD-ROM

TLG Project, University of California,  
Irvine, CA 92717, U.S.A.  
Phone:(714)856-7031  
Fax:(714)853-8434  
E-Mail(Internet) TLG@UCI.EDU

### Packard Humanities Institute CD-ROM

The Packard Humanities Institute,  
300 Second Street, Suite 201,  
Los Altos, CA 94022, U.S.A.  
Phone:(415)948-0150  
Fax:(415)948-5793  
E-Mail(Bitnet) xb.m07@stanford

### Musaios (Shareware \$65)

c/o Darl J. Dumont  
15237 Sunset Boulevard, Suite 20,  
Pacific Palisades, California 90272, U.S.A.  
E-Mail(Internet) ddumont1@cerf.net  
rsmith1@cerf.net

### WinGreek (Shareware \$35)

Peter J. Gentry  
55 Ambercroft Blvd.  
Scarborough, Ontario  
Canada M1W 2Z6

### Pandora(\$50) & GreekKeys(\$50)

Scholars Press  
c/o Professional Book Distiributors

P.O.Box 6996, Alpharetta, GA 30239-6996, U.S.A.

Phone:(404)442-8683

FAX:(404)442-9742

TLG Workplace (\$85)

Silver Mountain Software

1029 Tanglewood Dr.

Cedar Hill, TX 75104, U.S.A.

Phone:(214)293-2920

E-Mail(Internet) 4407401@MCIMail.com

CCT-98 (¥20,000)

(株) 技術評論社

〒160 東京都新宿区愛住町8-8

TEL 03-3225-3281

Jterm2.0 (¥9,800)

(株) まつもと

〒242 神奈川県大和市大和東1-4-4

TEL 0462-61-0070